

3R瓦版 (4月号) 2018年

負けるな!
エコ300くん
作:フジコイトウ



© 2018 フジコ イトウ All Rights Reserved

クルマと家計とエコの関係

省エネ家電への買換え、ごみを減らす、地産地消の実践、太陽光発電の設置など、様々な「エコ」な取組がおこなわれています。その甲斐あってか、家庭における二酸化炭素の排出量は少しずつですが、減少傾向にあります。技術の向上による家電製品や給湯機器の省エネ化は進み、情報の共有化による、ごみの削減方法や地産地消を身近に実践できるようになりました。その中でなかなか変わらないのが自動車からの二酸化炭素排出量の割合です。

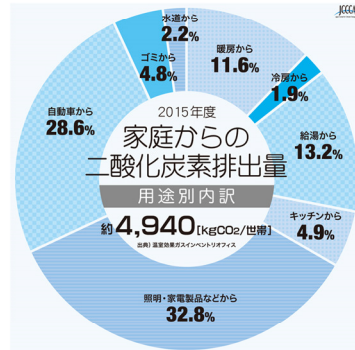


図-1 出展) 全国地球温暖化防止活動推進センター

(図-1) によれば家庭からの二酸化炭素排出量の用途別内訳中、約四分の一が「自動車から」の排出になっています。自動車の燃費も技術の向上により年々良くなり、エコカーと呼ばれる、EV・PHVの普及も進んでいますが、この割合に大きな変化は見られません。

自動車はとても便利な移動手段ですが、環境負荷の高さは否めません。かと言って、クルマを使わない生活は現実的に難しいかも知れません。しかし、近年の研究では「クルマをかしこく使う」ことによって、家計に良し、環境に良し、健康に良し、が実証されてきています。例えば、1000cc クラスの燃費の良いクルマの場合、保険、税金、駐車場代、車検代を含めると、所有しているだけで、一年間に合計42万円、1日当たり1,150円かかることとなります。これにガソリン代を年に10万円(節約して)とすると、一年間のクルマの維持費は50万円を超えることとなります。これにはクルマの購入費や修理代は入っていませんので、更に費用がかかることとなります。また健康面では、クルマ利用を控えて、電車やバスで移動した場合、クルマ利用と比べて2倍近いカロリーを消費することになるそうです。

「ちょっと近所へ」のお出かけに「ちょっとクルマ」を使ってしまうと、「ちょっと」の積み重ねで意外とガソリンを消費してしまうものです。歩いて5分、自転車でも5分程度のお出かけであれば、是非クルマを置いて出かけてみてください。いつものクルマからの風景とは異なる新しい発見や出会いがあるかもしれません。「あそこだったら歩いて行こう」「自転車で行けばいいよね」「今日は駅に車を置いて、電車でもかけてみようか」など、「かしこいクルマの使い方」が、家計にも環境にもやさしいライフスタイルへの転換のきっかけになると思います。

京都カーフリーデー実行委員会 代表 大國正明

REPAIR FACTORY

(有)本杉工機

京都府久世郡久御山町田井新荒見 220 番地

tel : 0774-66-6254